

【島のくらしの情報】

御蔵島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<p>御蔵島は観光業が主要産業であり、宿泊施設やイルカウォッチングなどのサービス業に従事する人が多いです。他は建設業、学校職員、役場職員などです。</p> <p>基本的に島外に向けての採用募集が少なく、住む場所を探すことも困難であるため、御蔵島への移住はハードルが高いのが現状です。</p> <p>今回は看護師、保健師、保育士の求人をしております。住宅も斡旋されますので、条件の合う方にとっては移住のチャンスです。</p> <p>・求人（看護師、保健師、保育士）お問い合わせ：御蔵島村役場総務課企画財政係 電話：04994-8-2121</p>
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<p>民間の不動産賃貸は、ほとんどありません。</p> <p>公営住宅は、村営住宅が6戸、定住促進住宅が2戸あります。島外向け入居募集はしていません。</p>
<p>③医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島唯一の御蔵島診療所では、医師が1名、看護師が2名常勤し、住民の健康を守っています。</li> <li>・歯科は月1回、その他眼科、耳鼻咽喉科などの専門診療は年1回程度医師が来島して診察を行います。</li> <li>・急患はドクターヘリで東京都内の総合病院などへ搬送されます。</li> </ul>
<p>④福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御蔵島社会福祉協議会は福祉保健センター仲里において、デイサービス、入浴サービス、介護予防通所事業、放課後児童健全育成事業などを行っています。</li> </ul>
<p>⑤教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御蔵島には御蔵島村保育園（15名）と御蔵島小中学校（小学校20名、中学校1名）があります。保育園は満3歳から入園可能です。</li> <li>・御蔵島に高校はありません。高校進学の際には島を離れて他の島あるいは都内、他県等に転居して、現地の高校に通学します。</li> <li>御蔵島村では離島高校生就学支援補助を行っています。</li> </ul>
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の供給は簡易水道により行われています。御蔵の水道水はミネラルウォーターなみにおいしく、お風呂もとても気持ちが良いです。</li> <li>・排水は浄化槽にて処理されています。</li> <li>・ガスはプロパンです。</li> <li>・電気は、島内にある火力発電所及び伊豆諸島唯一の水力発電所を利用しています。御蔵島村では公共施設において太陽光などの再生可能エネルギーの利用に取り組んでいます。</li> </ul>

<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p><b>【航路】</b> 東海汽船が大型客船を東京・竹芝桟橋から1日1往復運航。 所要時間約8時間、運賃7600円(2等和室)より（季節及び燃油調整金により変動あり）</p> <p><b>【空路】</b> 羽田空港から八丈空港を経由し、八丈空港から東京愛らんどシャトル（ヘリコプター）にて御蔵島に至る方法と、調布飛行場から大島空港を経由し、大島空港から東京愛らんどシャトルにて御蔵島に至る方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八丈島経由：所要時間約1時間半（乗り継ぎ時間除く）、運賃¥27,760(羽田八丈¥15,190(往復運賃片道分)+八丈御蔵ヘリコミ¥12,570)、1日1便。</li> <li>・大島経由：所要時間約1時間10分（乗り継ぎ時間除く）、運賃¥26,740(調布大島¥11,800+大島御蔵ヘリコミ¥14,940)、1日1便。</li> </ul> <p>※他にも大島まで竹芝桟橋もしくは熱海からジェットフォイル（東海汽船）を利用する方法や三宅島まで調布飛行場から新中央航空を利用し、東京愛らんどシャトルに乗り継ぐ方法もあります。</p>
<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内での公共交通機関はありません。集落内は徒歩で巡ることが可能です。</li> <li>・森や山への立ち入りには、一部を除いてガイドの同行が必要となります。</li> </ul> <p>お問い合わせ：御蔵島観光案内所 電話04994-8-2022</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p><b>【買い物場所】</b> 御蔵島には食料品および日用雑貨を扱う商店が2件と農漁協が1件あります。 通信販売は一部の運送会社を扱うものを除き、本土同様に届きます。但し到達日数は本土に比べて余計にかかります。 ガソリンスタンドは週3回、朝7時～8時の間のみ営業しています。</p> <p><b>【物価】</b> 海上運賃などが転嫁されているため、本土よりは高額です。 例：キャベツ1個350円、お米5kg2,350円、レギュラーガソリン223円/L（平成27年9月）</p>
<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>島外向けの採用募集が少ないことと、厳しい住宅事情があるため、島外出身者の1ターンは年2～3件にとどまります。</p>

⑪移住を希望される方の短期滞在、 下見に対する支援の状況	ありません。
⑫移住にあたっての支援の状況	ありません。
⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報	<p><b>【島で暮らすよろこび】</b> 御蔵島の人々は自然を身近に感じながら暮らしています。集落は傾斜地にありますので、どこからでも海を見渡すことができます。鳥の声や波の音、深い森のざわめきや、こぼれ落ちそうな星空など都会とは全く違う環境での暮らしがあります。人口わずか300人強ですので、1人1人が顔見知りになります。特に子供はとても大切にされます。毎年夏の稲根神社例大祭では島民や島出身者一体となって盛り上がります。</p> <p><b>【島で暮らす難しさ】</b> 交通や物流の大部分を航路に依存しているため、船が欠航すると人の出入りが困難になるばかりでなく、生活に必要な食料や燃料等が不足することもあります。御蔵島は冬場は西風の影響を大きく受け、栈橋が波で洗われるため接岸出来ない日が多く、就航率が20パーセント台になる月もあります。 また、診療所には歯科など常設されていない診療科目があり、場合によっては通院のために島外に出なければならず、時間的にも金銭的にも大きな負担となります。</p>